

議会だより

平成28年2月定例会版



第2回議会フォーラムを開催
議会こそ市民の意思決定機関の実感を

議会での検討状況などを報告する常任委員会委員長ら



参加者との意見交換



廣瀬克哉氏基調講演

主な内容

第2回議会フォーラム	2ページ
2月定例会市議会	4ページ
2月定例会市議会一般質問	6ページ
委員会活動報告	13ページ

特集 改革の成果を市民へ還元

第2回議会フォーラムに150人

第2回議会フォーラムを1月31日、市総合福祉センターで開催しました。「議会改革のこれから」に期待されるもの」と題して、法政大学法学部教授の廣瀬克哉先生による基調講演を実施、その後、議会・委員会活動報告、市民の皆様との意見交換会を行いました。



基調講演を行う廣瀬克哉教授

改革は当たり前になってい

ますが、議会が改革すると市民にどんないいことがあるのでしょうか。多くの議会では、議会基本条例の制定、議会報告会、一問一答方式等を取り入れたものの、目新しさにより住民の関心は低下しており、議会に何を期待するかが見えなくなっている人も多いためです。しかし、成果として議会審議は活性化し、開かれた議会の一歩として、議会だよりで議案の修正状況や、賛否状況が掲載され、議員の意思が明らかになってきています。議案の修正や否決は活性化した審議の成果でもあります。

議会報告会では議論のプロセスを紹介

市民との架け橋がしっかりできれば、市民の声が届いているとの実感が持ってもらえるはずですが、議会報告会は拡

大していますが、市民の参加が広がっていないのが実情です。市民は結果の報告よりも、どんな議論をしたかというプロセスを知りたいのではないのでしょうか。

議会広報は充実してきましたが、そもそも議会の中身への関心が拡大するまでに至っていない問題があります。積極的に関心を持ち関わろうとする人は少ないですが、口も出さないかというところではありません。関心を持たれない議会として、議場で何かが発見される感覚が乏しく、シナリオどおりに粛々と進むという点があり、それでは傍聴しがいがないです。議員はどのようにあるべきかといえ

ば、市民に伝わる答弁を執行部側から引き出せるだけの質問・質疑が大切で、そのため



議会だより編集委員会では、参加者へのインタビューも実施

には議員間討議をしっかりと、論点を整理することが重要です。また、審議への市民参加を進める工夫として、市民の発言機会場の場となる参考人招致や公聴会を活用することもできますし、市民参加を進める方法として、請願・陳情などで政策提案を行うこともできます。

議会こそ市民の意思決定機関の実感を

議会をとおして市民が自治体をコントロールできるのが究極の姿です。自治体計画の

策定が自由になった今は、計画の議決に関わる責任とフォローアップが課題となっております。決算審査を基点とする財政サイクルにも市民が議論し、意見を出し合えるシステムも必要です。

今後、市民の意見を反映し、行政の様子を分かりやすく市民に伝えるなど、市民の意思決定機関が議会なんだと実感されるようになることが、議会改革に期待されている方向だと思えます。

《参加者との質疑応答》

参加者 反問権の導入についてはどうか。

講師 質問の趣旨を明確にするためには、反問権を入れた方がよい。

参加者 議員定数の削減への意見はどうか。

講師 総社市議会は削減にあたって丁寧なプロセスを取っている。数名の削減であれば決定的に議会の権能を左右するものではない。

議員と市民の意見交換

講演に続いて、村木議員から議会や委員会の活動を報告。議員定数・報酬等の適正な在り方調査結果、一般質問の状況や各議案の審議の経過などを報告し、議員と市民の意見交換に移りました。意見交換の主なものは次のとおりです。

参加者 議会が、きびじつるの里を「なくせ」と決めたとはどういうことなのか。

産業建設委員長 きびじつるの里について、今後どのような里に在るべきか見直すべき旨の決議を行ったものである。

参加者 吉備線LRT化について、議会での取組状況はどうか。

総務生活委員長 LRT化は、する、しないの前段階であり、委員会でも調査を重ねている。

参加者 美術博物館の建設に向けて議会のフォローはどうか。

文教福祉委員長 平成24年に早期建設に向けて決議を行っ

た。多額の費用がかかるが、今後も訴えていく。

ほかに、高梁川の護岸、街灯が少ない地域の課題などについて意見交換がなされました。

◎本市議会では、次回一般選挙から議員定数が2人削減となります。これからも、意見交換会などをとおして、市民の皆様が議会の審議を分かりやすくお伝えするとともに、より多くの皆様の意見をお聞きしていきたいと思えます。

出席者へのアンケートの自由意見の主なもの

- ・執行部の反問権は、議員の質を高めるのでいいことだ。
- ・議会が市長、市役所の仕事をチェックすることが大事だ。
- ・これからは議会広報等を読み、また、このような会に参加したい。
- ・議員報酬は、仕事量と実質出勤日数を計算すると月額40万円は多い。
- ・いつまでも議会の改革という形式ばかりを唱えず、議員活動の本質に目を向けてほしい。

【議会フォーラム参加者へのアンケート集計結果(抜粋)】(回収率61%)

性別	男性78人	女性14人					
年代	30歳代 3人	40歳代 8人	50歳代 15人	60歳代 43人	70歳代 17人	80-90歳代 5人	未回答 1人
フォーラム全体	良かった 64人	ふつう 21人	未回答 7人				
基調講演の感想	分かりやすかった 75人	ふつう 13人	2	未回答 2			
議会・委員会活動報告の感想	分かりやすかった 27人	ふつう 46人	分かりにくかった 3人	未回答 16人			
議員定数はどうあるべきか(次回一般選挙後から22人)	22人で良い 52人	増やすべき 6人	更に減らすべき 15人	その他 11人	未回答 8人		
議員報酬(月額40万円)はどうあるべき	現状で良い 50人	増やすべき 17人	減らすべき 6人	その他 11人	未回答 8人		

一般会計当初予算 27.2億2千万円を可決
学校調理場建替基本設計に着手

2月定例市議会を、2月29日から3月22日までの23日間の会期で開きました。(審議結果は左のページのとおり)

○平成28年度一般会計予算

平成28年度一般会計予算は、過去2番目に多い総額27.2億2千万円となりました。高齢化による医療・介護保険などの費用の増加、新規事業などで、年々予算は増加傾向です。人口増加に伴う市民税は若干増加を見込んでいるものの、法人市民税は減額予算です。

主な新規大型事業は、学校給食共同調理場基本設計に5.620万円、総社小学校の実施設等に1億209万4千円、私立保育所の新設等に3億1285万9千円などです。

ふるさと納税の返礼品に米2万1千俵

また、昨年度のふるさと納税で好評だった返礼品の米等について、平成28年度も米2万1千俵分を含む関連経費として5億3228万8千円を計上しています。その他、救急医療体制維持の整備を行う医療機関への補助に1億円、特別養護老人ホーム等の整備補助に3億1920万6千円、障害者自立支援福祉サービス給付等事業に9億234万1千円、刑部三須線整備に4060万円、常盤地区の公民館分館整備のため8508万円などです。

職場環境の改善が見込めない。中学生の通院医療費助成の予算が計上されていない」等の2件の反対討論があり、起立採決の結果、新年度予算案は賛成多数で可決されました。

また、財源確保のために行っている「モーターボート競走の施行について」は、「公が参入するべきでない」として、反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数で可決しました。

適切な土地利用の誘導や基盤整備を進めるために策定する都市計画マスタープランは、全会一致で可決しました。

昭和地区の英語特区のためのスクールバスは廃止

昭和地区英語特区に係るスクールバス等の運行に関する条例は、昨年3月議会で、施行後1年を目的に必要な措置を講ずるよう修正可決していたものです。運行後1年、当局が利用状況、費用対効果等を検討した結果、早くも廃止

議員に交付する政務活動費月額3万5千円に

議員の調査研究や資質向上に必要な経費の一部として支給される政務活動費を月額1万円増額し、3万5千円とする条例を全会一致で可決しました。

教育委員の再任に同意

任期満了に伴う教育委員の任命は、林直人氏(総社)、小鍛治一圭氏(井尻野)を再任することに同意(任期は平成32年5月11日まで)。

また、人権擁護委員の候補者に福元艶子氏(清音軽部)を推薦することに同意しました。(任期は平成31年6月30日まで)。

○平成27年陳情第1号「農用地の不正事務及び本件該当隣地への排水妨害事件」

本件に関連の事案について、現在裁判で係争中であるため、継続審査となりました。

平成28年2月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	付議事件	結果
議案第1号	総社市職員給与条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	平成27年度総社市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第3号	平成27年度総社市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第4号	平成27年度総社市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第5号	平成27年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第6号	平成27年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計補正予算(第3号)	原案可決
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(総社市税条例等の一部を改正する条例の一部改正)	承認
議案第7号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案第8号	モーターボート競走の施行について	原案可決
議案第9号	総社市自転車駐車場指定管理者の指定について	原案可決
議案第10号	総社市定住促進条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	総社市行政不服審査法施行条例の制定について	原案可決
議案第12号	総社市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第13号	総社市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	総社市特別職報酬等審議会条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	総社市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	総社市税条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	総社市出張所条例の一部改正について	原案可決
議案第18号	総社市火災予防条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	総社市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第20号	総社市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第21号	総社市昭和三郎地区英語特区に係るスクールバス等の運行に関する条例の廃止について	原案可決
議案第22号	総社市公民館条例の一部改正について	原案可決
議案第23号	総社市教育施設使用料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第24号	総社市図書館条例の一部改正について	原案可決
議案第25号	総社市体育施設条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	総社市の都市計画に関する基本的な方針の策定について	原案可決
議案第27号	総社市農産物加工センター条例の一部改正について	原案可決
議案第28号	総社市手数料条例の一部改正について	原案可決
議案第29号	総社市建築審査会条例の一部改正について	原案可決
議案第30号	平成27年度総社市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第31号	平成27年度総社市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第32号	平成27年度総社市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第33号	平成27年度総社市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第34号	平成27年度総社市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第35号	平成27年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第36号	平成27年度総社市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第37号	平成27年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第38号	平成27年度総社市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第39号	平成28年度総社市一般会計予算	原案可決
議案第40号	平成28年度総社市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第41号	平成28年度総社市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第42号	平成28年度総社市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第43号	平成28年度総社市農業集落排水事業費特別会計予算	原案可決
議案第44号	平成28年度総社市公共下水道事業費特別会計予算	原案可決
議案第45号	平成28年度総社市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第46号	平成28年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計予算	原案可決
議案第47号	平成28年度総社市水道事業会計予算	原案可決
議案第48号	平成28年度総社市工業用水道事業会計予算	原案可決
議案第49号	市道の路線認定について	原案可決
議案第50号	市道の路線変更について	原案可決
議案第51号	市道の路線廃止について	原案可決
同意第1号	教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて	同意
同意第2号	教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて	同意
意見第1号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意

平成28年2月定例総社市議会で賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

議員名	菅野哲也	三宅啓介	岡崎亨一	深見昌宏	小川進一	高谷幸男	小西義巳	難波正吾	小西利一	津神謙太郎	村木理英	頓宮美津子	赤澤康宏	片岡茂夫	塩見禎章	名木田正昭	加藤保博	笠原武士	根馬和子	山口久子	剣持堅吾	大熊公平	西森頼夫	議決結果
議案第8号	モーターボート競走の施行について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第39号	平成28年度総社市一般会計予算	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	原案可決

(凡例) ○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 ・荒木勝美議員は、議長のため採決には加わりません。



小川進一

問 発達障がい児への対応はどうするのか

答 支援については全力を尽くす

問 発達障がい児の状況はどうか。

市長 4歳児では、3割近くの子に発達障がいの疑いがある。支援については、全力を尽くす。

問 現状の施設数、通所児童数はどれくらいであるか。

市長 デイサービス施設は、現在6か所あり、238人が通っている。

問 今後の施設整備はどうするのか。

市長 来年度、総社北小に支援センターを作り、通級指導教室と相談指導を充実させる。通所施設は2か所増える。

問 発達障がい児の診断書はもらいにくい。診断書による補助金支給の仕組みを変更できないか。

根馬和子

問 観光客の宿泊に民間の空き部屋の提供はできないか

答 観光行政で考えていくが様々な課題もある

問 高齢者等で夫婦だけとなった人の中には、空き部屋を観光やそうじゃ吉備路マラソンで本市に来る人に、無償の宿として提供を希望する人がいるが、どうか。

市長 議会と協議していきたい。民泊特区の大田区では苦労しているが、今後、観光行政の中で考えていく。

問 高齢単身者の水道使用量はどのくらいか。また、基本料金は決まっているが、使用量が余りにも少ない人へ減額特例は作れないか。

環境水道部長 単身者では、1か月に約10・5mの使用実績である。

市長 ガラス張り市長室でも意見が出た。簡易水道は赤字となっている。事業として運

営しているので、今後検討したい。

問 高齢者の孤立防止化はどうか。

保健福祉部長 133か所のいきいき百歳体操、サロン、小地域ケア会議、民生委員の声掛けや年9回のお弁当の配布などで見守る。

問 消費者被害に遭わないための見守り隊等の対策はあるか。

保健福祉部長 金融機関も入って、58事業所が見守りネットワークを立ち上げ、被害が出ないようにしている。

問 保育所新設について

教育次長 全市の観点から、既存施設のない所が望ましい。

加藤保博

問 KCT回覧板chに動画を導入し施策の周知拡大を

答 効果大と思う。提言を受け早急な実施を目指す



問 主要施策の市民への周知方法は現状で万全か。

市長 ガラス張り公開市長室や広報紙などで取り組んでいるが、不十分と感じている。

問 『広報そうじゃ』には、事業の進捗状況が掲載されない。その理由は何か。

総合政策部長 主には編集上の都合であるが、今後は内容を考慮し、周知に努める。

問 倉敷ケーブルテレビの『そうじゃ回覧板チャンネル』は、市が全て制作しているのか。

市長 市独自のチャンネルであり、担当課が全て企画、制作をしている。

問 静止画像が実に惜しい。施策の周知拡大のため、現場での解説付き動画を導入して



活用が期待される市の回覧板チャンネル

市長 効果は大きいと思う。技術的なことも検討し、実施に向け早急に取り組む。

問 JRの踏切について

市長 総社駅南の溝口踏切内の路面は特に悪い。先日も高齢者が転倒し骨折した。市の責任はどうか。

市長 踏切内の管理責任は全てJRと定められているが、市との兼用物でもあり、今回の事例を受け、JRに強く要望した。平成28年度に改修するとの回答を得ている。

塩見禎章

問 2次救急病院の整備はどうか

答 施設整備、高度医療機器化を目指す病院に助成する



問 2次救急に関心を持つ病院は市内にあるのか。

市長 市内の救急指定病院、または指定を受けようとする病院が2次救急病院を受けてくれたら非常に有り難い。

問 大規模災害について

市長 大規模災害時の役所業務継続計画策定の考えはどうか。

市長 平成28年度中に計画の策定をしたい。

問 重要書類の保管管理は十分なのか。

総務部長 重要書類は厳重に保管している。住民記録、税、福祉など基幹システムはデータセンターにバックアップしている。

問 備蓄品は十分なのか。

総務部長 食糧品は1万8434食分、飲料水は常盤防災

公園地下水槽に50トンを蓄えている。毛布は300枚を備蓄している。今後も毎年、計画的に蓄えていく。

高梁川流域連携中枢都市圏

問 流域連携中枢都市圏の取組はどうか。

総合政策部長 平成27年から平成31年まで継続して進めていくもので、移住定住の紹介パンフレット作成、中高年健康スポーツ推進事業、健康づくりサポートブック、流域の観光振興、周遊観光コース設定などを計画している。

問 保育料について

市長 保育料無料化をどう考えるか。

市長 県の新しい制度に従い、第3子以降は、ゼロ歳児から2歳児まで無料化とする。



三宅 啓介

問 保育園への入園許可の通知をもっと早く出せないか

答 確かに遅いので、まずは実態を調べる

75歳社会の実現について

問 高齢者雇用のワンストップ拠点を掲げている。どういったものか。

市長 高齢者雇用の専属部屋にスタッフを配置し、雇用のマッチングを行う。

問 シルバー人材センターとの関わりはどうなるのか。

市長 得手不得手な職能を互いに補完し合い、職も紹介し合えるものと考えている。

特別支援教育推進センターの創設について

問 創設目的は何か。

教育長 総社北小学校に設置予定で、市内の発達障がい児への対応が主な設置目的だ。通級学級の設置や保護者との相談機能の強化、教員のスキルアップなどを考えている。

認知症見守り体制の強化について

問 認知症高齢者の行方不明者の状況と発見件数はどうか。

消防長 平成26年以降に8名いて、うち市内で7人、市外で1人が発見されている。

問 具体的な強化策はどうか。

市長 行方不明者への対策についてはこれから考えていく。

保健福祉部長 総社みんなど見守るネットワークを市内58事業者と協力を結んでおり、気になる高齢者についての連絡をもらえる。

市営墓地の利用について

問 利用状況はどうか。

環境水道部長 市営墓地は14か所あり、総区画数2231区画のうち、2207区画で使用者が決まっている。

岡崎 亨一

問 市内の用水路危険箇所と事故状況はどうか

答 要望箇所38件、対応済11件。田で死亡事故が1件あった

問 岡山県警が開催した用水路等転落事故防止対策検討会議を受けて、市の対応はどうか。

市長 指摘を受けた箇所が別に16件あった。用水路・側溝問題は命に関わる問題なので、しっかり対応したい。

広告収入について

問 税外収入としての広告収入の今までの取組はどうか。

総務部長 ホームページのバナー広告や庁舎正面玄関の案内板の広告、広告を掲載した封筒などを協賛してもらっている。

問 今後の取組と考え方はどうか。

市長 広告収入は大切だと認識している。官製談合事件もありごみ袋への広告はやめた

萱野 哲也

問 総社市は下請け泣かせのブラック企業か

答 総社市経営の面からご理解いただきたい

問 市立中央保育所について、昨年の秋に5年間の指定管理者の公募を行った際に指定管理料を減額する説明をしないかった。指定管理者決定後に減額を迫ったのではないか。

市長 財政状況から指定管理者にご理解いただいた。

問 後出しジャンケンではないか。

市長 後出しジャンケンだったかもしれない。

問 仕事を市から請けている立場からすれば断れるはずがない。副市長、教育次長は指定管理者の所へ行き、委託料のお願いに行っている。公権力の濫用と思わないか。

副市長 特に思っていない。

問 年間約200万円の委託

名木田 正昭

問 西部地域の活性化について市全体での活性化策は

答 今は投資する時期に入ったと思っていて実行したい

問 何から優先的に施策を実行していくのか。

市長 大規模事業のビッグファイブを優先的にやっていると決断をし、まず、給食調理場、総社小学校の建て替え、待機児童解消のための子育て政策は、スピード感を持ち進める。

問 新総社大橋を西部地域活性化にどう活用していくのか。

市長 新総社大橋を基軸にして、これを武器に新しいまちづくりをする。また、防災の面でも活用していける大きな効果を生かすよう実行したい。

問 西部地域の土地利用は、どこまで市独自でやっていくのか。

市長 地区計画に値する白地

料減額で保育運営に影響は出ないのか

市長 出る。

問 待機児童の解消には保育士の処遇の改善が必要不可欠であるが、待機児童の問題に影響は出ないか。

市長 辛い部分はあるが、我々の経営感覚でやらなくてはならない。

子育て支援センター廃止について

問 支援センターの廃止決定は、市の内部でよく話あったのか。

教育長 十分できていない。そこが課題だ。

市長 支援センター廃止は間違っていた。全国屈指福祉会議で議論し直す。

西の吉備路正木山について

問 西の吉備路、正木山登山道の維持管理について、市の側面支援はしてもらえないか。

市長 この問題を解決していきたい。従来の自由枠交付金では無理なので、新しく市民提案型事業の枠を2倍から3倍に増やしていきたい。来年の当初頃から実施していきたい。

問 正木山登山道を復活した地元5人のボランティア活動についてどう思うか。

市長 お礼を言いたい。



高谷 幸男

問 多発する用排水路及び側溝への転落防止対策は

答 緊急度などを調査し、できるだけ早く対応したい

問 昨年、岡山市を中心に県南地域で用排水路や側溝への転落死亡事故が全国ワーストで発生している。特に、転落防止柵、反射板などの防止策が未整備であったことから安全対策が急務である。そこで、公共施設を始めとして、夜間ピカピカ大作戦事業を提唱しているが、転落防止対策へ拡大することはできないか。

市長 早急に施行方法を検討し、集中して実施したい。

問 岡山県、警察、消防、医療等の関係機関とどのように連携を図っていくのか。

市長 土担当員、町内会長など地域の事情に詳しい人々と十分連携を図りたい。

問 JRグループが9年振り

に4月から6月までの3か月間、観光のDESTINEーションキャンペーンを県内で実施する。市はどのような事業を行うのか。

市長 交通手段を作る観光であり、無料タクシー、無料バス、座禅体験、タンチョウ観察会、外国人への田舎住宅体験等により対応したい。

問 期間中に野口健康環境観光大使を招聘できないか。

市長 毎年、環境学校を開催している。要望したい。

問 ドローン(無人航空機)などを活用し、期間中の行事を組み入れた観光地PR版DVDなどは作成できないか。

市長 操作資格などを研究しながら、自主製作する方向で考えたい。

笠原 武士

問 事業のスクラップアンドビルドの考え方はどうか

答 福祉を中心にビルドし、事業の進行でスクラップする

問 福祉先駆都市の完成イメージをどう考えるか。

市長 福祉事業全体をチェックして弱い部分を埋めていき、全体のレベルアップを図る。

問 福祉関係予算約6億円の、主な事業は何か。

市長 有識者6人の知見により、11個の新規メニューを決定している。

問 保育料無料化はどうか。

市長 第3子以降は、2歳児まで無料化する。費用は約1300万円を予定している。

問 予算で、対前年度比で減額した項目は何か。

市長 地食べ公社の黒字化により、補助金を減額した。その他の完了事業も減額した。

問 最近の企業誘致での雇用の採用数はどうか。



新たに開設される小規模保育所(定員19人)

市長 1270人が採用され、うち正規雇用は15%で189人だ。

問 企業誘致について

市長 企業誘致と市の人口増加は比例しているか。

市長 人口の社会増が300人であり、関係者も含まれていると思う。

問 小企業も積極的に誘致しているか。

市長 土地、建物のデータ提供とサポートセンターでの支援をしている。

難波 正吾

問 今後の介護政策についてはどうか

答 最重要テーマだ

問 全国的に介護を巡る事件が多発している。家族が介護疲れから殺人に至る事件は2007年から2014年までで未遂も含めて373件、自殺、無理心中は2272人、介護離職は年約10万人で推移している。思いはどうか。

市長 最も力を入れる。マンパワー、資金共に単市では困難だが、最重要テーマだ。

問 現状はどうか。

市長 要介護3、5の人が1108人。施設系入所者は605人、在宅は503人で特養の入所待機者は108人だ。特養の定員は370人で満床、有料老人ホーム等の定員は176人だ。

問 今後の計画はどうか。

市長 第6期の計画で特養2

村木 理英

問 福井支線3467号道の整備の考えはどうか

答 新規路線についてだが、これはやる

問 国道180号バイパスについて、将来のまちづくりという視点での、いかし方と位置付けはどうか。

市長 これは本市にとって、大切なことだ。

問 国道180号バイパスと交通結節点についてはどうか。

市長 現在3路線との結節点を考えている。

問 岡山国道事務所と、計画について協議する考えはどうか。

市長 協議していく。

問 実施計画路線の設計についての考えはどうか。

市長 計画路線の設計をして、それを基に岡山国道事務所と協議する。

問 早急にやる考えはあるか。



国道180号バイパス整備に伴い早期結節が望まれる福井支線3467号道

問 通学路の街灯について

市長 何をもちて事業終了としたのか。

市長 終了したわけではない。なぜ、調査を当時の中学生だけに限定したのか。

市長 そこが行政の悪いところだ。横の連絡が取れていない。

問 追加すべき箇所があると考えるが、どうか。

市長 柔軟に対応する。



西森 頼夫

問 誘致企業の正社員採用が少ない。対応はどうか

答 立地確定時や補助金支給時に社員採用を要請していく

問 誘致企業は雇用不足と聞く。雇用状況はどうか。また、正社員の採用が少ない。若者が正社員として採用されるように、いかに対応しているのか。

市長 雇用が足りない状況だ。働きたい高齢者の紹介やハローワークに要請するなど雇用促進に努める。14企業で1270人の社員が働いている。そのうち正社員は189人で15%と少ない。企業の立地が決まったときや立地促進補助金の支給に合わせて、正社員を採用してもらうよう要請しているが、さらにお願していく。

が増えている。その要因は何か。また、就学前の子どもは増えているのか。一方、市全体では増えているが、市内14地区のうちで増えているのは5地区で、9地区は減っている。市長は各種集会で「人口が増えた」と自慢している。全体を見るべきだがどうか。

市長 雪舟くんの運行や企業誘致、子育て王国そうじゃなど、雇用、人口流入で、自立できる総社に成長してきたのが要因と考えている。少ないけれど、子ども的人口も増えている。人口が減少している地区への施策を進めているが、さらに知恵を出して効果を上げたい。

問 県内で3市1町だけが人口増になった要因は

市長 倉敷市と本市の3市だけ人口

大熊 公平

問 人口が増えたが子ども出生数が減っているがどうか

答 結婚数を増やすことを考えて取り組む

問 実行している少子化の施策は成果を上げているのか。

市長 待機児童解消など保育のニーズを補完していけば市外から転入してくる可能性が高いが、最終的には子ども出生数を増やしていく。

問 結婚・出産には大きなハードルがある。どう認識し、対処するのか。

市長 経済的な障壁は、企業誘致による雇用の拡大で解消していく。保育の受け皿は保育所の新設で整えていく。

問 地域子育て支援センターの廃止を決定したのは誰か。その理由は何か。

市長 決断したのは私だ。全国屈指の福祉先駆都市の実現会議で、廃止について見直しを指示した。

問 奈義町が合計特殊出生率2・81を達成した。この取組をどう評価し参考にすべきか。

市長 奈義町の取組は素晴らしい。財政を考え、ふるさと納税などを財源に子育て王国に特化した仕組みを考えたい。

保健福祉部参与 出産祝金制度など本市と異なる施策もあり、地域全体の雰囲気が高い。本市でも、来年度から「子育て包括センター」を立ち上げ、子育て世代へ愛育委員・保健師によるサポート体制を整備する。

問 少子化のみならず、多子化への取組を考えないか。

市長 第2子、第3子の出産がなされるよう、男性の家事・育児への参加促進を市内の企業へ働きかける。

総務生活委員会 所管事務調査

市民以外の雪舟くん利用には反対意見

総務生活委員会は3月8日と18日、雪舟くんの利用者拡大等について所管事務調査を実施しました。

当局から「市外の住民が市内まで来れば、雪舟くんに乗れるよう乗車可能な対象者を拡大したい」との説明がありました。これに対し委員から「拡大の利点に経済効果を揚げているが、雪舟くんの元々の目的はどうか」と質疑があり、当局から「雪舟くんは、市民等に必要な交通手段を確保するものである」と答弁があり、また、委員から「市外利用者数はどうか」との質疑があり、当局から「1日平均3人程度の見込み」との答弁がなされました。このため、委員から「雪舟くんは市民のための交通手段であり、利用者拡大には反対」との意見が出され、当局は利用者拡大を取りやめることにしました。

雪舟くんは、高齢者等交通弱者の大切な交通手段です。総務生活委員会では、引き続き適切に運行されるよう注視し、提言していきます。

総務生活委員会

当委員会で審査した案件は、議案15件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。**● 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について(議案第7号)**

延原・宇山地区に係る公共的施設の総合整備計画を策定しようとするものです。**問** 防火水槽と消防機庫を計画している。他に地元からの

要望はなかったのか。**答** 他の関係部署にも確認し、この2点を挙げている。**● 総社市定住促進条例の一部改正について(議案第10号)** 定住の促進と人口の増加を図るため、山田・新本・池田地区を助成対象地区に拡大しようとするものです。**問** 対象地区の拡大に伴う助成金の予算はどうか。**答** 定住助成金の予算総額を720万円に増額している。**問** 元から住んでいる人にと

どまってもらうための施策はどうか。**答** 福祉のソフト面やグラウンドデザイン改革で、市としての魅力を高めることが大事である。**■ 一般会計予算審査特別委員会総務生活分科会**
◎ 平成28年度一般会計予算(議案第39号)(所管部分)
問 職員の残業が増え、時間外勤務手当が多くなっているか。**答** 時間外勤務は年々増えて、職員にも負担が掛かっている。時間外勤務の削減や課内応援の体制ができないかなど検討していきたい。
問 雪舟くんの運行について、現行では、満員だと乗降に時間がかかるということだ定員を減らして走らせている。今回の車両更新でそれが解消されるのか。また、ラッピング委託料についてはどうか。**答** 車両の小型化により、30分運行の最適化を目指すもの

である。また、既存の車両は5年で約20万キロを走行しており、電気系統の故障等も頻繁に発生しているため、利用者の安全面を最優先に考え、9台の車両を一齐に替えようとしているものである。ラッピングについては、雪舟くんのデザインは浸透しており、利用者の意向も踏まえ、議会にも諮ったうえで決定していきたい。
問 美術博物館施設整備事業基金積立金が約2千万円計上されている。基金残高が約4千万円となるが、建設には25億円といった金額が必要であると思う。2千万円では、いつできるのかということになる。今後どのように積み立てていくつもりか。
答 平成26年に美術博物館の基金を設置し、平成26年度、27年度に各1千万円積み立て、平成28年度は約2千万円を積み立てる予定としている。決算次第で、積み増しを検討し

ていきたい。

問 ふるさと納税の報償費について、主な返礼品は米で、2万1千俵分とのことだ。1俵1万3千円で農家から買うが、それ以外の配達などの経費はどうか。

答 ふるさと納税のお礼の米は、精米や発送に掛かる費用を入れると、1俵あたり2万2500円が掛かる見込みである。

問 市庁舎内配置換え等の経費について、こども関係部署などの配置換えはいつ行うのか。

答 配置換えに関する経費は、工事請負費が1千万円、修繕料が500万円、電話の移設等が500万円、合計2千万円である。時期は西庁舎の玄関周辺を整えてから、平成28年度の前半までには行いたい。

問 消防施設費の工事請負費3300万円について、女性消防職員の仮眠室を作るということだが、今後の女性職員

があったか。全員が納得しているか。

答 春頃から個別に事情を説明してきたこともあり、会議では不満の声はなく、子どもがどうやったら安全に登校、登園できるかという意見が交わされた。

●平成28年度 総社市国民健康保険特別会計予算(議案第40号)

問 医療費抑制のため健康づくりのPRが必要と考えるがどうか。

委員会の動き	
1月18日	議会運営委員会(政務活動費の透明性向上ほか)
1月25日	産業建設委員会(そうじゃ商人応援事業ほか)
2月 1日	全員協議会(都市計画マスタープラン)
2月 1日	総務生活委員会(財政計画ほか)
2月 3日	文教福祉委員会(保育士の給与体系見直しほか)
2月 9日	文教福祉委員会(全国屈指の福祉先駆都市実現に向けた取組)
2月22日	議会運営委員会(平成28年2月定例市議会の運営ほか)
3月 8日	総務生活委員会(雪舟くん、ふるさと納税)
3月 8日	議会運営委員会(議会報告会)
3月18日	総務生活委員会(雪舟くん、ふるさと納税)

委員会行政視察調査



高齢者等の移住が進む団地を視察する総務生活委員会

- 《総務生活委員会 平成28年1月20日～21日》
- ・公共交通政策について(熊本県熊本市) 市民の重要な交通手段となっているLRTについて、経営・運行状況、路線移設事業、駐車場の整備事業などを視察。
- ・高齢者等移住政策について(福岡県朝倉市) 民間の移住施策マネジメントに乗った形で地区への定住・移住の側面支援を行うことで、市域全体へその効果を波及させようとするもの。団地内には、医療機関、地域交流の拠点となるコミュニティなどを有し、小規模タウンを形成している。

- 《産業建設委員会 平成28年1月20日～21日》
- ・立地適正化計画について(福岡県飯塚市) 都市構造の観点から将来への対応を考えていく計画。人口密度を維持するために公共交通のネットワーク化と地域コミュニティの維持と民間投資の確保により持続可能な都市づくりを目指している。
- ・耕作放棄地の取組について(福岡県古賀市) 農業委員会による農地パトロールで遊休農地を再生可能な農地へと転換していくことと担い手の育成に取り組んでいる。後継者不足解消と農業収入の増加につながっている。

- 《文教福祉委員会 平成28年1月21日～22日》
- ・認知症対策について(福井県敦賀市) 認知症初期集中支援チームを3か所の地域包括支援センターに設置。認知症の人などを対象に支援チームが訪問して、程度確認や情報を提供して支援している。
- ・発達支援システムについて(滋賀県湖南市) 障がい者及び発達に支援の必要な人を教育・福祉・保健・就労・医療の関係機関の連携支援と個別の指導計画による連携で支援している。

- 《議会運営委員会 平成28年1月12日～13日》
- ・議会活性化について(滋賀県大津市) 議会基本条例を具体化するために、議会版実行計画を策定し、議会の見える化を図っている。
- (岐阜県高山市) 地域別・分野別の市民意見交換会を実施。地域別では、年1回20会場で開催し、各委員会が調査研究中の政策課題をテーマとしている。

※各委員会では、視察で得た知見を今後の総社市のまちづくりや委員会活動、一般質問、質疑等に活かしてまいります。

の採用予定はどうか

答 5人程度を目標として、今後の採用を考えていきたい。

文教福祉委員会

当委員会で審査した案件は、議案17件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

- 総社市昭和地区英語特区に係るスクールバス等の運行に関する条例の廃止について(議案第21号)

昭和地区英語特区の学校園への登校、登園支援のため平成27年度からスクールバス

答 平成28年度は、健診分析を地区別に詳細に行っているかと考えている。その結果を地区に戻し、各地区で一緒に健康づくりの取組、医療費抑制の方策を考えていく。

一般会計予算審査特別委員会 文教福祉分科会

◎平成28年度 一般会計予算(議案第39号)(所管部分)

問 総社保育所と井尻野幼稚園を認定こども園にする計画はどうなっているのか。

答 現在、総社保育所の耐震診断を行っており、平成28年6月に結果が出る予定である。その診断結果により、今後の方向性を議論していきたい。

問 救急体制整備補助金の1億円の予算計上は、形が見えていないものだ。全国屈指の福祉先駆都市の実現へのパフォーマンスに感じるがどうか。

答 本市の救急体制を維持するために必要な予算を計上している。救急告示病院を続けるための施設整備を行う病院、

あるいは、新規で救急告示病院をしたいという病院に対し支援を行い、救急医療体制を維持しようとするものである。

問 英語特区が前提で入園、入学していない子どもの中に、英語教育になじめない、あるいは、英語をやりたいくないという子どもはいないか。

答 英語授業について得意、不得意はあり、英語が苦手だという子どもも把握している。英語アレルギーにならないように興味関心を大事にしながら、楽しいと感じられる取組となるよう教員の研修等も更に深めていきたい。

産業建設委員会

当委員会で審査した案件は、議案19件であり、全て原案どおり可決しました。

- 総社市の農産物加工センター条例の一部改正について(議案第27号)

総社市農産物加工セン

ターに係る運営の健全化及び受益者負担の適性化を図るため、使用料を改定することに伴い、関係条文の整備を行うこととするものです。

問 使用料を1千円から3千円に改定しようとする経緯はどうか。

答 市内の六次産業に携わる加工施設は概ねJAの施設で、施設使用料は1日当たり3千円であることから、それに合わせて料金設定している。

●平成27年度総社市一般会計補正予算(第6号)(議案第30号)

問 新規就農総合支援事業補助金を減額する理由は何か。

答 県で体験の募集をし、現地に来ていた7名分を予算計上していた。桃の生産者4名の補助を行ったため、残りの3名分を減額している。

- 平成28年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算(議案第45号)

問 繰入れの金額はいくらか。



答 営業収入は微増しているが、備品等の修繕により営業費用も増加しているため、営業利益は減少傾向にある。償還が平成34年まで毎年1億3千万円程度あり、6千万円を繰入れている。

●平成28年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計予算(議案第46号)

問 事業はいつ終了するのか。

答 工事は、平成27年度予算でほぼ終了している。平成28年度で1千万円の工事請負費を計上しているが、これは平成3年からの事業のため当初の舗装の修理に当てるものである。平成30年に換地処分が終わるよう目指している。

問 平成30年頃には、この特別会計は廃止されるのか。

答 換地処分が終われば、廃止する方針である。

■一般会計予算審査特別委員会産業建設分科会

◎平成28年度一般会計予算(議案第39号)(所管部分)

問 カーブミラー、ガードパイプ等設置の工事請負費を100万円計上しているが、周知している危険箇所と県警から指定された危険箇所の対応はできるのか。

答 11箇所対策ができていない。試算すると5800万円になる。地元の土木担当員と検討しながら補正予算で対応するよう考えている。

問 きびじつるの里にいるタンチョウのその後の状況はどうか。

答 岡山県自然保護センターに返すことについて、県で検討を進めている。動物園については、引き取ってもらえるところの連絡を待っている。また、画家の先生がタンチョウを2羽欲しいということ、具体的に話を進めている。

問 大規模工場等立地促進補助金の内容はどうか。

答 指月電機製作所とモニターに補助金を交付するものである。

6月定例市議会の予定

日時	内容
6月2日(木)	開会
6月9日(木)	一般質問
6月10日(金)	一般質問
6月13日(月)	一般質問
6月14日(火)	質疑
6月15日(水)	委員会
6月16日(木)	委員会
6月17日(金)	委員会
6月24日(金)	閉会

問い合わせ 議会事務局 Tel.92-8332

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

[平成28年1～3月分]

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
土産等	1/5	7,340	行政視察先(議会運営委員会)
	1/12	7,592	行政視察先(総務生活委員会)
	1/12	7,592	行政視察先(産業建設委員会)
	1/12	7,700	行政視察先(文教福祉委員会)
その他	1/25	4,000	議会フォーラム講師御礼
	3/22	4,000	議員研修会講師御礼
合計		38,224	
4月からの累計	-	163,558	-

議長交際費執行状況

編集後記

好天に恵まれ成功裏に終わった、そうじゃ吉備路マラソン。今大会から、10キロコースとハーフマラソンが日本陸連の公認コースとなり、ハーフマラソンでは、倉敷高校の留学生が高校生国内最高新記録を出した。今年はおリンピックの年である。今年のリオデジヤネイロオリンピックや4年後の東京オリンピックで、総社ゆかりの人たちが出場し、良い成績を上げてくれればと願う。

(小川進一)

◆編集委員会のメンバーは次のとおりです。

委員長	顧問	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
小川進一	頼宮美津子	岡崎亨一	深見昌宏	高谷幸男	村木理英	根馬和子	